

## 9-3-② 病床規模別 医療事故報告(発生)の判断の際に支援を受けた件数(センター)

病床数	報告件数	10月	11月	12月	1月	2月	合計
0～19	14	2	0	1	0	1	4 28.6%
20～49	0	0	0	0	0	0	0 —
50～99	8	0	1	0	1	0	2 25.0%
100～149	5	0	0	0	0	0	0 0.0%
150～199	6	0	0	0	0	0	0 0.0%
200～249	13	0	1	0	2	0	3 23.1%
250～299	6	0	0	0	1	0	1 16.7%
300～349	12	0	0	0	1	1	2 16.7%
350～399	6	0	0	0	0	0	0 0.0%
400～449	7	0	0	3	0	0	3 42.9%
450～499	5	2	0	1	0	0	3 60.0%
500～549	13	0	1	0	1	0	2 15.4%
550～599	5	0	0	0	0	0	0 0.0%
600～649	14	0	0	0	6	2	8 57.1%
650～699	5	0	0	1	1	1	3 60.0%
700～749	7	0	1	0	0	0	1 14.3%
750～799	1	0	0	0	0	0	0 0.0%
800～849	2	0	0	0	0	0	0 0.0%
850～899	1	0	0	0	0	0	0 0.0%
900～999	3	1	0	0	0	0	1 33.3%
1000以上	7	0	0	1	0	0	1 14.3%
合計	140	5	4	7	13	5	34 24.3%

※この集計は、2016年2月末までの報告に基づく内容を示したもの。

※1事例に対し複数の病院等が報告している場合は、最初に診療した病院等で集計している。

※下段は、各報告件数に対する支援を受けた件数の割合を示したもの。

## 9-3-③ 地域ブロック別(厚生局の管轄に基づく分類) 医療事故報告(発生)の判断の際に支援を受けた件数(センター)

地域ブロック	報告件数	10月	11月	12月	1月	2月	合計
北海道	9	0	0	0	1	0	1 11.1%
東北	4	0	0	0	0	0	0 0.0%
関東信越	60	3	1	2	9	1	16 26.7%
東海北陸	15	1	2	0	0	0	3 20.0%
近畿	22	1	0	3	0	0	4 18.2%
中国四国	10	0	1	1	2	0	4 40.0%
九州	20	0	0	1	1	4	6 30.0%
合計	140	5	4	7	13	5	34 24.3%

※この集計は、2016年2月末までの報告に基づく内容を示したものである。

※1事例に対し複数の病院等が報告している場合は、最初に診療した病院等で集計している。

※下段は、各報告件数に対する支援を受けた件数の割合を示したものである。

## 【2】センターによる分類

## 1-1 医療事故報告(発生)における、起因した医療(疑い)による分類

起因した医療		10月	11月	12月	1月	2月	合計	小計
診察	徴候、症状	3	1	1	2	3	10	10 7.1%
検査等 (経過観察を含む)	検体検査	0	0	1	0	0	1	16 11.4%
	生体検査	0	0	0	0	2	2	
	診断穿刺・検体採取	0	0	2	1	0	3	
	画像検査	0	3	2	4	1	10	
治療 (経過観察を含む)	投薬・注射(輸血を含む)	1	3	3	5	2	14	92 65.7%
	リハビリテーション	0	1	0	0	0	1	
	処置	2	3	5	5	2	17	
	手術(分娩を含む)	10	11	12	12	11	56	
	麻酔	2	0	1	0	0	3	
	放射線治療	0	1	0	0	0	1	
	医療機器の使用	0	0	0	0	0	0	
その他	療養	0	1	0	0	1	2	13 9.3%
	転倒・転落	0	0	1	1	0	2	
	誤嚥	0	2	2	0	2	6	
	患者の隔離・身体的拘束/身体抑制	0	0	3	0	0	3	
★ その他		1	1	3	3	1	9	9 6.4%
合計		19	27	36	33	25	140	

※この集計は、2016年2月末までの報告に基づく内容を示したものの。

※1事例に対し複数の病院等が報告している場合は、最初に診察した病院等で集計している。

※医療事故報告の内容をセンターが分類、集計したもの。

※起因した医療の項目は、H27年5月8日医政発0508第1号の厚労省医政局長通知の「医療に起因する(疑いを含む)」死亡又は死産の考え方に基

※★その他は、上記に分類できない事例

## 1-2 手術(分娩を含む)の内訳

手術の種類		件数		合計
手術	開頭	1	45	56
	開胸	6		
	開腹	7		
	筋骨格系(四肢体幹)	5		
	腹腔鏡下	12		
	胸腔鏡下	1		
	その他の内視鏡下	3		
	経皮的血管内	6		
	その他	4		
分娩 (帝王切開術を含む)	11			

※この集計は、2016年2月末までの報告に基づく内容を示したものである。

※1事例に対し複数の病院等が報告している場合は、最初に診療した病院等で集計している。

※厚生労働省の患者調査票に基づき、分類、集計したものである。

※医療事故報告の内容をセンターが分類、集計したものである。

## 1-3 1イベントあたりの患者数ごとの報告月別イベント数

患者数	イベント数					
	10月	11月	12月	1月	2月	合計
1人	19	25	33	33	23	133
複数	0	★1 1	★2 1	0	★1 1	3
イベント数の合計	19	26	34	33	24	136

※この集計は、2016年2月末までの報告に基づく内容を示したもの。

※1事例に対し複数の病院等が報告している場合は、最初に診療した病院等で集計している。

※イベントとは、起因となった一連の医療行為等(疑いを含む)をさす。

※1イベントにおいて死亡した患者数が複数(妊婦および胎児、感染症のアウトブレイクの死亡等)である場合は、患者ごとにそれぞれ報告する。

※★1 妊婦および胎児 ★2 感染症のアウトブレイクによる3名の死亡

## 2-1-①「医療機関調査報告票」フォーマット

## 医療機関調査報告票

報告日	平成		年		月		日
-----	----	--	---	--	---	--	---

## I 医療機関

(ふりがな) 医療機関名							事故報告管理番号
所在地	郵便番号		-		都道府県		
(ふりがな) 管理者の氏名							
連絡先	(ふりがな) 氏名				所属部署		
	電話				FAX		
	Eメール						

## II 事故の内容

\* 発生時の報告時点で記載していた内容を記入してください。

患者年齢		歳		ヵ月	在胎週数			週		日
患者性別	男性		女性		診療科		診療科番号※1 (共通コード参照)			
死亡日時	平成		年		月		日	死亡場所※2 (共通コード参照)	番号	具体的な死亡場所
	時間		時		分					
医療事故 発生日時	平成		年		月		日	医療事故 発生場所※2 (共通コード参照)	番号	具体的な発生場所
	時間		時		分(頃)					
疾患名										

## 【機構記載欄】

受付年月日	平成		年		月		日 ( )	事故報告管理番号	
備考									
								機構確認者	/

フォーマット

事故報告管理番号

## 報 告 書

平成〇年〇月〇日

〇〇病院





## 2-2-①院内調査結果報告書における項目別記載状況(平均、最大、最小、標準偏差)

視点	番号	記載項目	記載されていた事例数(N=33)	割合(%)
臨床経過	起因した医療(行為)より前の情報	1 既往歴	28	84.8
		2 入院または受診目的、入院形態	29	87.9
		3 バイタルサイン(1時点) 血圧、脈拍、呼吸、体温	16	48.5
		4 意識レベル	28	84.8
		5 症状・観察した結果(患者・家族の言動含む)	30	90.9
		6 診察結果のアセスメント、方針	25	75.8
		7 検査結果(血液、尿、培養、病理等)	12	36.4
		8 画像・生理機能検査、結果	14	42.4
		9 検査・処置・手術、治療の説明	6	18.2
		10 患者家族への病状説明	7	21.2
	★	11 起因した医療(行為)又は発見時、急変時、病状転換時等	33	100
	起因した後の医療(行為)より後の情報	12 バイタルサイン(2時点以上) 血圧、脈拍、呼吸、体温	30	90.9
		13 意識レベル	30	90.9
		14 症状・観察した結果(患者・家族の言動含む)	33	100
		15 診察結果のアセスメント、方針	33	100
		16 検査結果(血液、尿、培養、病理等)	9	27.3
		17 画像・生理機能検査、結果	17	51.5
		18 検査・処置・手術、治療の説明	6	18.2
		19 患者家族への病状説明	15	45.5
死因		20 解剖生理学的な死因(推定含む)	33	100
	21 解剖 実施	5	15.2	
	22 Ai 実施	14	42.4	
行動分析	p:患者	23 認知能力、理解力、家族との関係、加齢に伴う機能低下	15	45.5
	m:管理	24 病床数、病床種別、指定等(特定機能病院、救急病院等医療機関) 当該診療科の組織体制、医師数など、関係部署の組織体制、人員数、教育体制	5	15.2
	S:ソフトウェア	25 院内管理規程・基準等、手順書、マニュアル、ガイドライン、チェックリスト、診療諸記録、処方箋等の記述方法、取り扱い説明書、略語、表示のルール	4	12.1
	H:ハードウェア	26 医療機器、物品等、設備、施設の構造、操作性、接続等の構造設計、自動化のレベル、補助具等の装着状況	7	21.2
	E:環境	27 事象発生場所(関連場所)の環境、温度、湿度、照明、騒音、空間、同線等、作業中断等、作業の特性、労働状況、作業範囲、職場の雰囲気	3	9.1
	L:本人(当事者)	28 【医療従事者のうち当事者に関する視点】 経験年数、当該手術(処置等)の実績(主治医の臨床経験と実績)、身体状況(睡眠状況や体調等)、心理的・精神的状態、能力(技能、知識)、経験(臨床経過、手技に関する経験数)	9	27.3
	L:関係者	29 【当事者以外の関係した者に対する視点】 人間関係(権威勾配)、役割と責任(リーダーシップ)、チーム内・他部門・他職種とのコミュニケーション	0	0.0
調査手法	30 委員会人数	17	51.5	
	31 委員構成(職種、役職、診療科など事故発生診療科との関係)	16	48.5	
	32 委員会開催数	18	54.5	
	33 外部委員の参加	18	54.5	
	34 ヒアリングの実施 当該医療従事者	24	72.7	
	35 遺族	4	12.1	
	36 情報分析の手法	6	18.2	
	37 報告書に対する意見の有無 当該医療従事者	3	9.1	
	38 遺族	12	36.4	
	39 使用した文献	4	12.1	
再発防止への提言	40 再発防止策の(項目)の記載	32	97.0	
	41 再発防止策の有無	30	90.9	
項目数合計(全項目数41)			680	
平均			16.6	
最大			33	
最小			0	
標準偏差			10.8	

※この集計は2016年2月末までの報告に基づく内容を示したものです。

※赤塗りつぶしは必須と考える項目

※Aiは、医療機関がAi報告としている場合の生前CT画像を含む。

## 2-2-②院内調査報告書における記載必須項目

項目番号	3	5	11	12	14	合計 (5点満点)
番号	バイタルサイン (1時点) 血圧、脈拍 呼吸、体温	症状・観察した 結果(患者・家 族の言動含む)	起因した医療 (行為)又は発 見時、急変時、 病状転換時等	バイタルサイン (2時点以上) 血圧、脈拍 呼吸、体温	症状・観察した 結果(患者・家 族の言動含む)	
1	0	1	1	1	1	4
2	0	1	1	1	1	4
3	0	0	1	1	1	3
4	1	1	1	1	1	5
5	0	1	1	1	1	4
6	1	1	1	1	1	5
7	0	1	1	1	1	4
8	0	0	1	1	1	3
9	1	1	1	1	1	5
10	1	1	1	1	1	5
11	0	1	1	0	1	3
12	1	1	1	1	1	5
13	1	1	1	1	1	5
14	0	1	1	0	1	3
15	0	1	1	0	1	3
16	1	1	1	1	1	5
17	0	1	1	1	1	4
18	1	1	1	1	1	5
19	0	1	1	1	1	4
20	1	1	1	1	1	5
21	1	1	1	1	1	5
22	0	1	1	1	1	4
23	1	1	1	1	1	5
24	0	1	1	1	1	4
25	0	1	1	1	1	4
26	1	1	1	1	1	5
27	1	1	1	1	1	5
28	1	1	1	1	1	5
29	0	0	1	1	1	3
30	0	1	1	1	1	4
31	1	1	1	1	1	5
32	1	1	1	1	1	5
33	0	1	1	1	1	4
合計	16	29	32	29	32	138

※この集計は2016年2月末までの報告に基づく内容を示したものです。